

標十五句

松岡隆子選

親交のきはみの淡し萩は実に
夏草やどこかに地雷伏せてある
秋といふ字が秋らしく三千歩
白粉花のいつ盛りともなき盛り
空蝉の背に糸屑のやうなもの
差しかける傘を真直に広島忌
洗ひ了へつくづく墓の真正面
登頂の槍よ穂高よ若き日よ
片陰のありて長びく立話
看板の裏より伸びて凌霄花
妻の逝く道の涼しくあれやか
秋澄むや捨て猫空と名を貰ひ
焦土の匂ひ向日葵の種を採る
息よりも小さき風を苔の花
一類り散つてはたまた百日紅

高橋愛子
松原ふみ子
佐藤郭子
唐木和世
平沢千恵子
川上昌子
染谷晴子
早川紀子
渡辺あつ子
室井千鶴子
大津朗
菊池一枝
田坂孝志
梶浦道成
長束フミ子